

学校探検 19

考える子 強い子 仲のよい子
かみよし

神美小学校 (豊岡)

案内者 家下 正義くん
まさよし



神美小学校は、市中心部の東部に位置しています。周囲には田園・山林地帯が広がり、歴史、伝統のある社寺が点在しています。10地区から、現在、147人の児童が通っています。

神美小学校に通う児童会長の家下正義くん(6年)は、2年生の時から始めた三味線が特技です。野球部で培った体力と気力で、将来は、救急隊員になりたいという夢を持つ家下くんが神美小学校を紹介してもらいました。



▲省エネ活動を通じて環境学習に取り組んでいる神美小学校

神美小学校では、豊かな自然を守っていくために、省エネ活動に取り組んでいます。

この活動は、環境学習の一環として行っているもので、年間を通じて節電に挑戦しています。

校内には、「省エネナビ」が取り付けられ、消費電力が一目でわかるようになっていきます。全校生はそのモニターを意識しながら、教室を移動するときの消灯や暖房の設定温度などに常に気を配っています。節電によって削減された経費の半分は、ドッジボールやアイマスクなど、学習に役立つ備品の購入にあてられるので、とてもやりがいがあります。

僕は、この取り組みを通して、一人ひとりが環境問題について意識すれば、きっと豊かな自然を守り続けていくことができると感じました。

なにかよし給食も僕たちの楽しみの一つです。毎月第2火曜日

日に全校生が赤・白・紫・黄・緑・橙の6グループに分かれ、各教室で給食を食べます。上級生が下級生の分まで準備をし、学年の枠を超えてみんなで楽しく食事をします。そのあとの休憩時間も、上級生と下級生が一緒になっておしゃべりしたり、ゲームを楽しみます。

また、5・6年生の音楽の授業では作曲をします。僕は今年「明日天気になあれ」という曲を作り、みんなの前で歌って披露しました。



▲節電効果が一目でわかる省エネナビ。「どれだけ節電できたかな」

もうすぐ卒業ですが、ここで学んだ人や自然を思いやり気持ちと、何でも諦めずにやり抜くということを大切にしながら大きく成長していきたいと思います。

笑顔の輪

豊かな自然を活かして 地域に元気を

『5200の会』(竹野)

いろいろの会は、竹野地域の御用地館を中心さまざなイベントを展開しているグループです。平成14年に、地域の活性化に取り組もうと有志が集まり発足しました。現在、会員数は18人です。

事務局長を務める花垣吉胤さん(阿金谷地区)は、「子どもたちの笑顔を見ることが好きなんです」と話します。同会が企画・実施するイベントは、8月に竹野川で行う灯籠流しをはじめ、10月の月見会、12月のもちつき大会などです。

なかでも人気を集めているイベントは、都会の子どもたちを対象に夏休みに1泊2日で行う「山・川・海 竹野エコツアー」です。自然体験を通じて竹野の魅力を広くアピールしようと、県立人と自然の博物館と共催し、ほぼ毎年行われています。

このツアーでは、海中公園でのスノーケリング体験やこみづくり、竹野川で魚のつかみ取りなどが体験できます。大自然を満喫できるこのイベントは、都会から訪れる子どもたちにとって、とても楽しい思い出の1ページになっています。



▲竹野川で魚のつかみ取りをする子どもたち。会場では笑い声が絶えない。